

日本代表選手強化育成システムについて

【現 状】

世界ランク16位の日本(2023年3月時点)が、2025年までに東京デフリンピックでメダルを獲得できるだけの実力を有するためには、2年半の限られた時間に、高齢化が進む代表経験のある選手の代表復帰の促進と代表経験が少ない若手選手の育成が急務となっている。

【目 的】

本システムは、東京デフリンピックでのメダル獲得のための強化育成と同時に、デフバスケットボールの発展に寄与する人材を育成することを目的とする。

【システム概要】

1. ランクについて

- ①日本代表選手を3つのランクに分ける
強化指定選手・・・**日本代表上位カテゴリー**
育成選手　・・・**日本代表中位カテゴリー**
U18強化指定選手・・・15～18歳の高校生のみ対象の**日本代表下位カテゴリー**
※高校生であっても、基準を満たせば上位カテゴリーに選出される可能性がある。
- ②毎合宿終了後、スタッフで協議して、ランクの昇格と降格を行う。
- ③ランクの見直しの結果、日本代表選手から降格し、日本代表外になる可能性がある。
- ④やむを得ない事情以外で、連続で不参加が続いた場合は、ランク降格の対象となる。
3回連続不参加・・・1ランク降格(育成選手は、日本代表外となる。)
4回連続不参加・・・日本代表選手の資格を失う

2. トライアウトについて

- ①トライアウトを設けず、毎合宿に2～5名程度のトライアウト枠を設定する。
- ②日本代表外へ降格した選手が、トライアウト選手として参加することができる。

3. デフリンピック日本代表の選出について

- ①デフリンピック日本代表の選出は、強化指定選手から選出する。
- ②強化指定選手が12名に満たない場合は、育成選手から選出する。

【メリット】

- ・基準を満たした選手全員が日本代表として活動できる。
- ・将来有望な高校生が、正式な選手として、代表合宿に参加することができる。
- ・東京デフリンピック直前まで、多くの選手を強化育成することができる。
- ・選手のモチベーションアップと競争意識を促すことができる。

【その他】

- ・希望する日本代表選手には、日本代表選手証明書を発行する。
- ・証明書の用途は、以下の場合のみとする。
 - ①活動経費の補助を申請する場合
 - ②勤務先、教育機関(高校、大学)へ休暇を申請する場合
 - ③日本代表選手の身分を証明する必要性を認められた場合

【基準】

・基準は、世界との競争力を考慮し、スタッフ間の協議で随時変更する。

	ランク名	基準(全て条件を満たしていること)	備考
日本代表	強化指定選手	①世界大会で勝利に貢献する資質を有している ②日本代表にふさわしいモラルを有している ③デフバスケット発展に貢献できる資質を有している	強化合宿に参加するために必要な交通費と宿泊費の全額または一部を支給される(予定)
	育成選手	①世界大会で勝利に貢献する資質を有する可能性が高い ②日本代表にふさわしいモラルを有する可能性が高い ③デフバスケット発展に貢献できる資質を有する可能性が高い	強化合宿に参加するために必要な交通費と宿泊費の一部を支給される(予定)
	U18強化指定選手	①高校生(15~18歳)の選手であること ②将来、世界大会で勝利に貢献する資質を有する可能性が高い ③将来、日本代表にふさわしいモラルを有する可能性が高い ④将来、デフバスケット発展に貢献する資質を有する可能性が高い	強化合宿に参加するために必要な交通費と宿泊費の一部を支給される(予定)
日本代表外	トライアウト選手	①日本代表を志し、基準を満たすために努力を惜しまないこと ②デフバスケットの発展のために、貢献する意志を有していること	参加にかかる費用は全額自己負担となる

【日本代表選手条件】

・日本代表選手は、①~⑥の条件を必ず満たし、⑦または⑧に該当すること

- ①日本国籍を持っている者
- ②2023年度JDBA会員である者
- ③裸耳状態で、聴力損失が55デシベルを超えている聴覚障がい者(身体障害者手帳所持者)
- ④JDBAが指定する講習会を受講すること(サインバスケット、倫理、アンチドーピング等)
- ⑤日本代表選手に選出された当該年度より全日本ろうあ連盟に会員登録できる者
- ⑥周囲と積極的に意思疎通を図ろうと努力を続けることができる者
- ⑦日本代表を志し、デフバスケット(サインバスケット)の発展に寄与できる者
- ⑧デフバスケット(サインバスケット)の発展のために、自らの競技力向上を志す者

以上